# 資料③

令和2年度

横浜市公共事業評価委員会に係る道路部会

# 【道路-3】再評価 <u>県道青砥上星川</u> 保土ケ谷区上菅田町地内道路改良事業

(道路局)

#### (様式3)

#### 公共事業再評価調書 (案)

番号	道路-3				事業担当局談	果 保土ケ谷区	ス 保土ケ谷土木事務所				
事業名	県道青砥上星川保土ケ谷区				菅田町地内道	<b>直路改良事業</b>	採択年	度 平成12年度			
施工場所	保土ケ	谷区	上菅田町	566番1	から 744番 1	まで	経過年	数 20 年			
	目的 県道青砥上星川は、JR 鴨居駅や相鉄西谷駅へのアクセス道路として、また近くの大規模団地と横浜駅西口を結ぶバス道路として重要な道路です。 本地区は、通学路として利用されていますが、現況幅員が約7mと狭く歩道も無いため、歩行者が安全に通行出来ない状態であり、また交差点が変則で見通しも悪く、危険な状況になっています。歩道設置及び交差点改良を行い、歩行者の安全確保と車両交通の円滑化を図ります。										
	県担 延長		上星川 0m								
				$3.5 \mathrm{m} \times 2$	、歩道 2m >	(2)					
				当初(事	業採択時)	変更(平成 21	年度)	変更(令和元年度)			
	重	* 土土	間	平成 12	年度~平成	平成 12 年度	~平成	平成 12 年度~令和			
	事業期間			15 年度 25 年月		25 年度		6年度			
	事	í	合 計	345	百万円	284 百万円		265 百万円			
目的及び	事業費	国費				<u> </u>		_			
事業概要			市費		百万円	284 百万円		265 百万円			
				関係地権者と用地買収に向けた交渉を進めてきましたが、交渉が							
				難航しており、期間を要しているため事業期間を延伸しました。							
				また、右折レーンを含む交差点改良を実施する計画でしたが、近隣							
	本更上点			交差点の信号現示を交差点の信号現示と合わせて処理することで、渋							
	変更内	竹谷		滞の緩和を見込めることがわかり、用地買収範囲を削減することがで きることが判明したため、計画を変更し、事業費も減額となっていま							
			_	す。							
				り。 現在、関係地権者からの事業への協力が得られ、一部用地を残し、							
				現代、関係地権自からの事業、の協力が得られた。							
			7,7	横浜市中期4か年計画(2018~2021)の政策20「市民に身近な交通機							
			能等σ	能等の充実」の施策2で「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」							
	上位計	画等		を掲げています。本事業では、歩道整備により歩行者の安全性を向上							
			させま				- '				
	関連事業なし										

		当初、本事業区間は、県道青砥上星川の交通量も多く、交差点において							
		右折待ちの渋滞発生が頻発していました。また歩道もなかったため、歩行者							
		の通行も危険な状態で、通学路でもあるため、スクールゾーン協議会からも							
		安全対策の要望を再三、受けてきました。							
		渋滞解消のため、右折レーン設置を含む交差点改良を進めてきましたが、							
	事業を巡る	近隣交差点の信号現示を交差点の信号現示と合わせて処理すること							
	社会経済情	で、渋滞の緩和を見込めることがわかったため、右折レーン設置をな							
	勢等の変化	くす計画変更を実施しました。しかしながら、依然として歩行者の通							
		イリ   一							
		進めています。平成28年10月の港南区や令和元年5月の滋賀県大津市							
		における交通事故を受け、通学路の安全対策は重要課題であり、歩道							
	_	整備を迅速に進めていきます。							
事業の			事業全体	残事業					
必要性		割引率	4%	_					
		総便益(B)	5.6 億円	_					
		総費用(C)	3.6 億円	_					
	事業の	費用便益比 (B/C)	2.4	_					
	投資効果	感度分析 [交通量-10%]	1.6	_					
	•	〔定性的効果〕							
	事業効果等	本事業区間は歩道が整備されていないため、歩道を整備することで歩							
	(費用便益分析等)	行者の安全性が向上します。また、歩行者が歩道を通行することによ							
		り、歩行者と車両の通行が分離されるため、交通混雑の緩和な							
		バスの定時性向上に寄与します。							

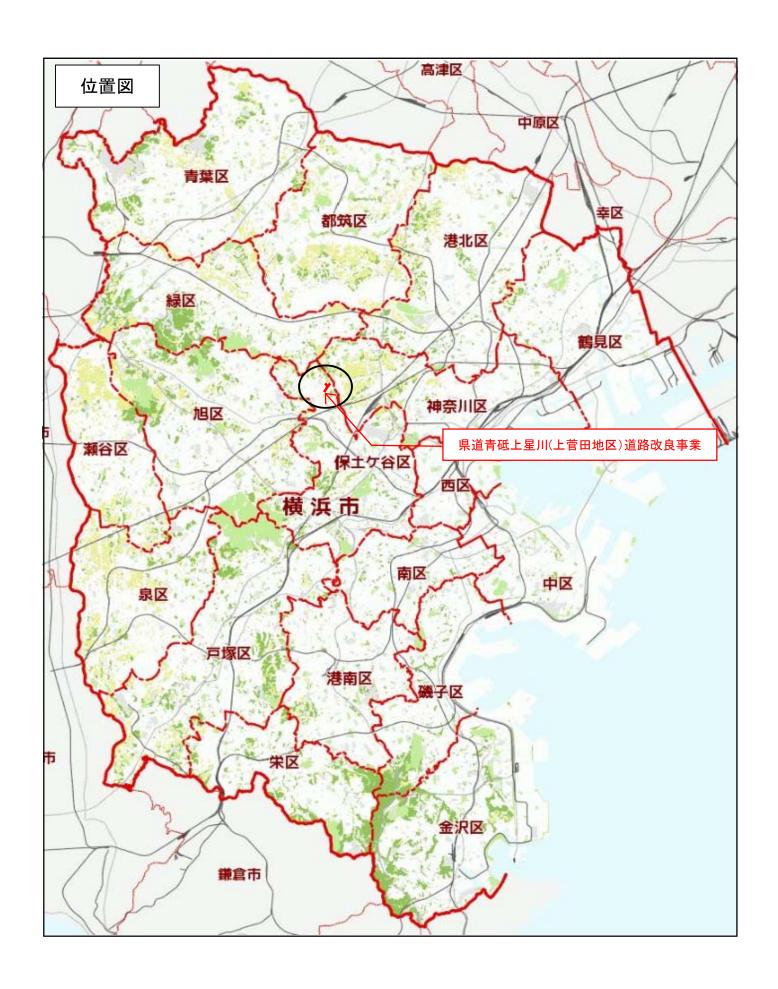
	事業進ちょく率%	令和元年度末までの用地取得率は 72.3%、事業進捗率は					
	74.5%	74.5%となっています。					
事業の	用地取得率%	残る必要用地は2地権者であり、そのうちの1地権者分の					
進ちょく	72. 3%	用地を本年度中に用地取得予定で、取得後の用地取得率は					
状 況	供用等の状況	91.8%となり、令和3年度に歩道整備工事を実施予定です。					
		引き続き、残りの用地取得を進めるとともに、取得が完了次第、					
	_	工事に着手します。					

事業の課題 及び進ちょく 見 込 み	事業区間の多くは完了済みであり、残り2地権者との用地交渉を残すのみとなっています。1地権者との用地交渉は順調に進んでおり、既に道路区域変更を実施しています。本年度中の用地取得予定であり、来年度早期に工事を実施します。 残る1地権者においても用地交渉を進め、早期に事業完了を目指します。							
その他 (コスト縮減項目等)	下水道管理者と協議・調整により、設計の際にコストを意識した施工方法の検討を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど、可能な限りコスト縮減に努めます。							
その他	特になし							
添付資料	有・無							
対応方針 (案)	計画通り(上記計画を実施) - 部見直し(上記計画を変更) 【見直し内容】							
	中 止							

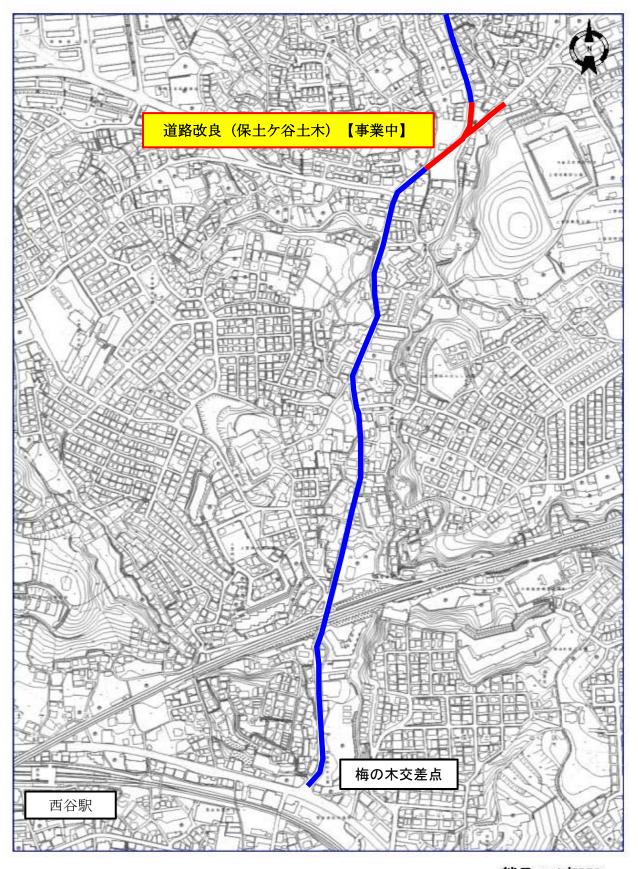
#### 対応方針 (案) とし た理由

本事業区間は、県道青砥上星川の交通量が多く、交差点において右折待ちの渋滞発生が頻発していましたが、信号現示の変更により、渋滞は解消されました。しかし、歩道がない箇所があり、県道青砥上星川線はバスも通行も多く、車両と歩行者が近接してしまうこともあり、車両の円滑な通行に支障をきたしているばかりでなく、歩行者の安全性も損なわれている状況です。

歩道の整備については、地元からの要望もあり、また、通学路でもあることから、平成28年10月の港南区や令和元年5月の滋賀県大津市における交通事故を受け、スクールゾーン協議会から歩道の整備を強く望まれており、事業を継続して実施する必要があると判断しています。

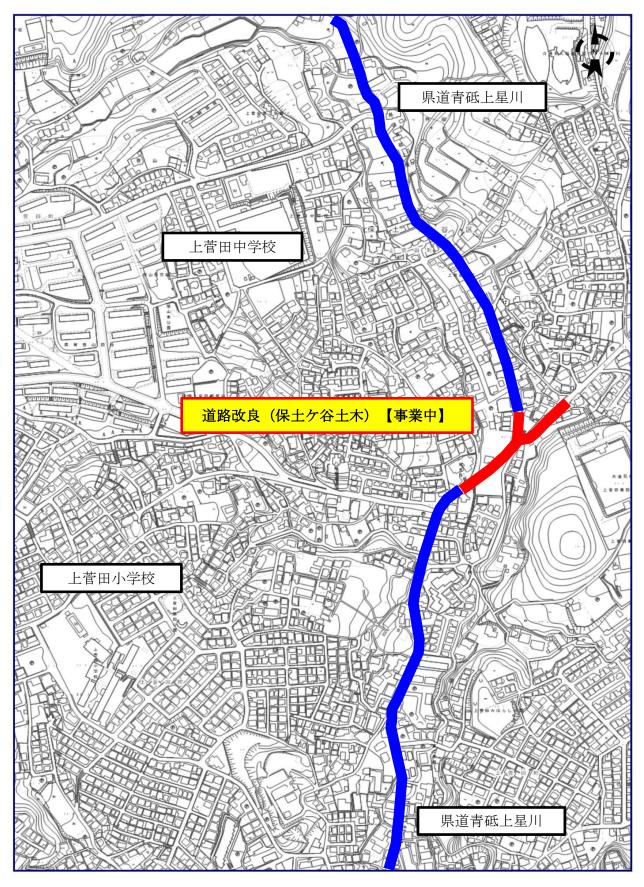


# <u>県道青砥上星川</u>



縮尺: 1/5350

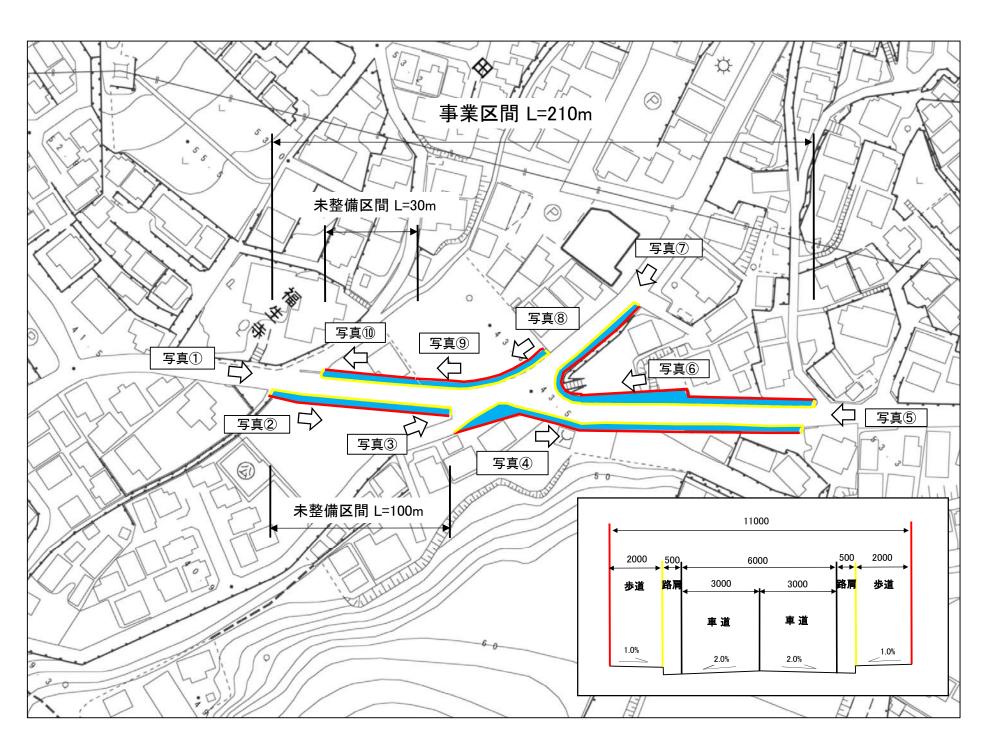
# <u>県道青砥上星川</u>



縮尺: 1/5000

\_

# 県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業



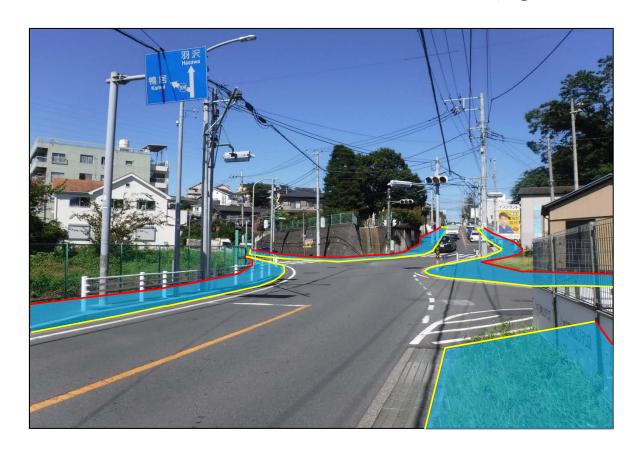
## 県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真①



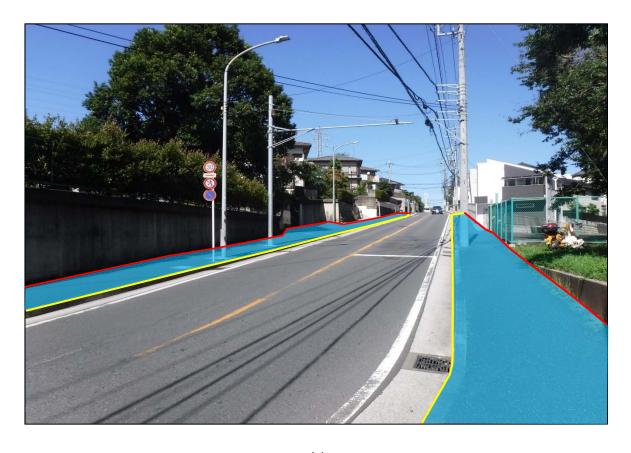
県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真②



## 県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真③



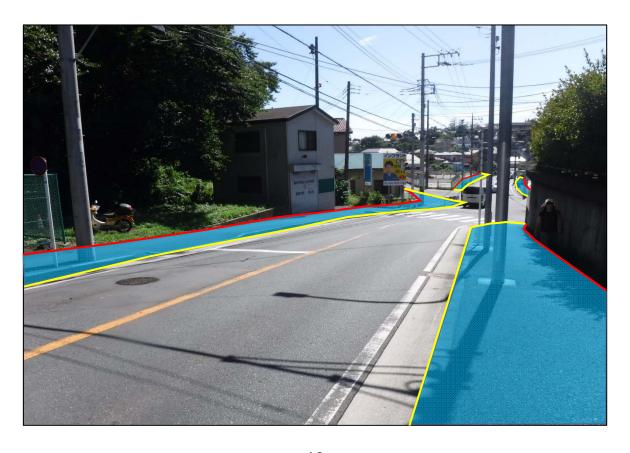
県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真④



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑤



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑥



#### 県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑦



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑧



#### 県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑨



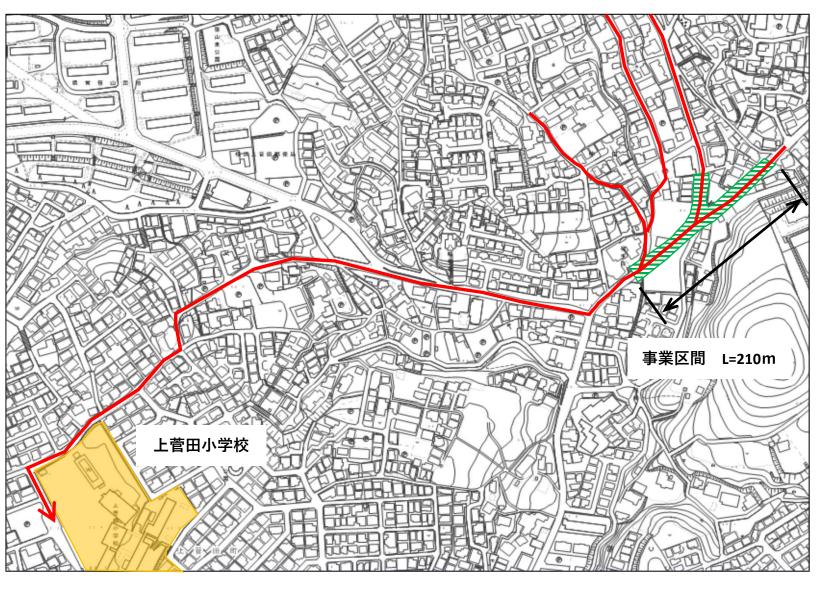
県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑩



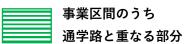
#### 前回再評価内容との比較

	前回(H 2 1)	今回(R 2)	1 1年間の経過			
	都市計画道路鴨居上飯田線(鴨居地区)の	当該区間は通学路となっていますが、歩道	本路線での用地取得率は72%です。			
	供用開始により、国道 16 号から県道川崎町	が整備されておらず、歩行者の安全性の確	近隣の信号機の現示変更と秒時(信号サイク			
事業を巡る社会経済	田方面への新たなルートが出来たため、交	保に課題があり、スクールゾーン協議会から	ル)が変更になったことにより、右折待ちの渋			
青条を巡る社会程序	通量が増加しました。危険な状況を解消す	も歩道の整備を引き続き要望されています。	滞が見られなくなり、右折レーンを廃止する計			
旧労守の友に	るため、本地区の重要性がより高まっていま		画に変更したため、必要用地が少なくなりまし			
	す。		た。引き続き、歩行者の安全を確保するため、			
			歩道の整備を進めています。			
事業進捗率	41%(37%)	75%	+34%			
用地取得率	54%(44%)	72%	+18%			
供用等の状況	_	_	_			
	平成 20 年度末までの用地取得進捗率は	令和元年度末までの用地取得率は 72.3%、	用地取得率は前回と比べ18%進んでおり、着			
	44%、事業進捗率は 37%となっています。	事業進捗率は 74.5%となっています。	実に事業進捗が図られているものと考えてい			
	交差点から北側区間は用地取得をほぼ完	残る必要用地は2地権者であり、そのうちの	ます。			
事業の進捗見込	了しています。	1地権者分の用地に本年度中に用地取得	また、計画変更に伴い必要な用地も少なくな			
		予定で、取得後の用地取得率は 91.8%とな	り、地権者の理解も得られやすくなったため、			
		ります。	今後の事業進捗も図れるものと考えていま			
			す。			

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を()で示した。



通学路図



通学路

## 事業進捗状況

## 県道青砥上星川

(単位:百万円)

年度 単年度事業費				累計事業費			事業進捗率			用地取得		
平及	合計	用地•補償	工事•委託	合計	用地•補償	工事•委託	合計※1	用地•補償※2	工事・委託※2	取得面積(㎡)	累計(㎡)	用地取得率※3
H12	6	0	6	6	0	6	2.4%	0.0%	2.4%	0	0	0.0%
H13	5	О	5	12	0	12	4.4%	0.0%	4.4%	0	0	0.0%
H14	0	0	0	12	0	12	4.4%	0.0%	4.4%	0	0	0.0%
H15	3	3	0	14	3	12	5.3%	1.0%	4.4%	32	32	5.7%
H16	3	0	3	17	3	14	6.3%	1.0%	5.4%	0	32	5.7%
H17	86	86	1	103	88	15	38.9%	33.3%	5.6%	235	267	47.9%
H18	1	0	1	104	88	16	39.3%	33.3%	6.0%	0	267	47.9%
H19	4	3	1	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	32	299	53.7%
H20	0	0	0	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	0	299	53.7%
H21	0	0	0	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	0	299	53.7%
H22	10	0	9	118	91	26	44.4%	34.5%	9.9%	3	302	54.1%
H23	19	0	19	136	91	45	51.4%	34.5%	16.9%	0	302	54.1%
H24	0	0	0	136	91	45	51.4%	34.5%	16.9%	0	302	54.1%
H25	22	19	2	158	111	47	59.6%	41.8%	17.8%	95	397	71.3%
H26	30	1	29	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	6	403	72.3%
H27	0	0	0	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	0	403	72.3%
H28	0	0	0	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	0	403	72.3%
H29	4	0	4	192	112	81	72.5%		30.4%	0	403	72.3%
H30	2	0	2	194	112	83	73.3%	42.1%	31.3%	0	403	72.3%
R1	3	0	3	198	112	86	74.5%	42.1%	32.5%	О	403	72.3%
合計	198	112	86							403		

1

#### 事業進捗状況 県道青砥上星川

